【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成17年6月9日(2005.6.9)

【公開番号】特開2002-28230(P2002-28230A)
【公開日】平成14年1月29日(2002.1.29)
【出願番号】特願2000-213968(P2000-213968)
【国際特許分類第７版】
　Ａ６１Ｍ　1/14
【ＦＩ】
　Ａ６１Ｍ　1/14　５１１

【手続補正書】
【提出日】平成16年8月27日(2004.8.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
【発明の効果】
以上説明してきたことから明らかなように、本発明の透析液調製装置を採用すれば、エアーフィルターや攪拌ポンプを必要とせず、また送液ポンプも減らすことができるので、コスト的に有利である。また、大きな溶解タンクを必要としないので装置全体の小型化が可能である。さらに送液ポンプを１つしか使用していないので、動作音を大幅に低減することができる。また、調製後に濃度異常が見出された場合であっても、透析液の濃度調整が容易にできるので、透析液を無駄に破棄しないで済む。